

あのとき、あしべつは

ちょっとだけ過去に寄り道散歩 ③



1976(昭和51)年に造成を開始し、翌年11月に完成した広さ約33万平方メートルの芦別工業団地。1981(昭和56)年11月には小口径ベアリング業界大手の北日本精機株式が新工場を建設して操業を開始したほか、1985(昭和60)年には、北日本自動車工学専門学校(現北日本自動車大学校)が進出。現在は、小口径ベアリング製造に関連する企業やバーコードスキャナー製造会社などが操業しています。

現在市では、空気が澄んでいることや地震、台風などの自然災害が少ないなどの自然条件の良さをアピールして企業誘致に力を入れています。

芦別工業団地に隣接する、旧芦別商業高校跡地(広さ約9万8千平方メートル)は、オーダーメイド方式の上芦別準工業地域として整備。また、1994(平成6)年に市内2つ目の工業団地として整備した緑泉工業団地(広さ約20万平方メートル)は、その後北日本精機株式が一括買い上げしましたが、経済産業省が行った調査で、精密機械やIT関連企業の立地に最適な場所と認められ、「北日本精密機械工業団地」として今後の新たな企業立地が期待されています。

良好な自然条件をPR

工業団地別

1973(昭和48)年～1982(昭和57)年

芦別市内での主なできごと	
1973(昭和48)年	青年センターが完成(2月)
1974(昭和49)年	第1回農業まつりが開かれる(8月)
1975(昭和50)年	北海道開発局が滝里ダム建設計画を芦別市に報告(7月)
1976(昭和51)年	芦別市民会館の落成記念式が行われる(8月)
1977(昭和52)年	芦別工業団地が完成(11月)
1978(昭和53)年	野花南農業用ダムが完成(10月)
1979(昭和54)年	芦別市福祉センター(現総合福祉センター)が開館(3月)
1980(昭和55)年	第1回市民のど自慢大会が開かれる(12月)
1981(昭和56)年	市立図書館がオープン(3月) 北日本精機が芦別工業団地に工場を新設し開業(11月)
1982(昭和57)年	第1回黄金水松まつりを開催(8月)

北海道内外の主なできごと	
・ベトナム和平協定調印(ベトナム戦争終結)(1973)	・ウォーターゲート事件(1974)
・第1回先進国首脳会議(フランス・ランブイエ)(1975)	・北海道庁爆破事件・ロッキード事件・石屋製菓が「白い恋人」を発売(1976)
・有珠山噴火(1977)	・新東京国際空港(現成田国際空港)が開港・日中平和友好条約調印(1978)
・イラン革命(1979)	・イラン・イラク戦争勃発(1980)
・北炭夕張新鉱でガス突出・坑内火災事故(1981)	・ホテルニュージャパン火災で33人死亡(1982)

指揮者先頭

指揮者先頭とは、「指揮者は常に皆の先頭に立って行動する必要がある。」という意味で、私が考えた大切にしてほしい言葉です。

No. 15

今年気温の上昇による熱中症の多発、さらには各地に被害をもたらした局地的集中豪雨など生活に被害が及ぶ気象状況が多い夏でした。

かつたことは幸いです。

特に集中豪雨においては、お盆に帰省された皆様方にも多少の影響があったと思われるが、大きな事故に至らな

さて、先日、総務省より地域政策課長・猿渡知之氏をお招きし、「地域の元気創造プラン」に関する講演会を開催したところ、市内の関係団体や企業の皆様にも多数の参加をいただきました。おそらく芦別市が単独でこの種の講演会を開催するのは初めてのことでと思います。

中央省庁で今何が進められているのか、今後どのような政策が展開されようとしているのか、多くのヒントをいただくことができた講演会でした。このような取り組みは今後も実施していきたいと考えています。

芦別市長 清澤 茂宏



8月19日、猿渡知之氏の講演会にて、猿渡氏からは、本市で進めている木質チップ製造事業の将来展開について、多くの助言をいただきました。

(平成25年8月20日・記)

芦別市長 清澤 茂宏